

保険でカバーできるヘルペスの範囲を
広げてもらえる事を心から願っております。

「私の治療状況について (外耳炎・ヘルペス・副鼻腔炎手記)」

匿名希望 42歳

2016年2月1日

いつもお世話になります。大阪府在住のYです。手記の依頼を受けておりましたが、なかなか実現できず申し訳ありませんでした。

さて、私が松本先生を受診したのは、かれこれ4年前の事です。そもそもの受診のきっかけは、私の症状というよりは、娘（当時8歳）のとびひでした。娘は、なぜか小さい時から暖かくなると皮膚にブツブツができていました。潰れて周りに広がる前に、皮膚科で飲み薬と塗り薬を貰ってきて対応していました。

ところが、4年前、首筋にブツブツができました。それまで通り皮膚科で薬を貰いましたが、全く効かず、あれよ、あれよという間に皮膚がズルズルになり、汗がいっぱい出てくる状態になりました。さらに首筋以外にも症状が出始めて困ってしまいました。“これ、ただのとびひじゃないのかも？”と思いました。その時、友人が子どもさんのアトピーを漢方薬で治しているのを思い出し、早速聞いてみたところ、松本先生の事を教えてもらいました。「先生なら、間違いないでえ。」との事でした。

初めての受診は、とても緊張しましたが、「治るからね！痒い時は、いっぱい掻いていいからね！」と優しく娘に話してくださいました。血液検査の結果、そんなにひどいアレルギー体質でもなかったようでした。それから、しばらく通院し、紫雲膏や漢方による治療を続けたおかげで、娘にひどいアトピー症状が出る事はなくなりました。

私はその頃、副鼻腔炎によくかかっていました。鼻がつまる、膿がのどに落ちてくるので、声が枯れてくるなど・・・すっきりとしない毎日でした。耳鼻科での薬も飲んでいましたが、あまり効かない状態でした。事情を話すと、松本先生に血液検査をすすめられました。ちょっと高いけど、原因がわかるなら！

と思いました。結果を聞くと、今までの血液検査ではアレルギーのAの字もなかった私ですが、アレルギー反応を起こさない物質を探すのが難しい位の検査結果でした。松本先生からは「娘さんより、あなたが治さない！」と言われました。

それから、煎じ薬や粉薬、抗ヘルペス薬、紫雲膏のお世話になり、今に至っております。ここからは、私の症状を書いてみます。私も小さい時、ブツブツがよくできていました。小学校入学当時は、大小関わらず、水いぼが大量発生し、ピンセットで一つずつむしり取られました。痛かったし、そのせいで初めてのプールの授業を受けられなくなったので、今でも暗い思い出として残っています。夏によくできるブツブツは痒くて、汁も酷くて、市販の薬をよく塗っていたと思います。あとは、成人してからのニキビです。これは毎日鏡を見るのが嫌になるほどでした。皮膚科では、よく効くからと注射をされました。効果は・・・、思い出せないくらいですから、イマイチだったのでしょうか。今思うと、ステロイドが入っていたんだと思います。

帯状疱疹にも何回か、かかりました。会社の更衣室で、先輩から「下手したら死ぬ病気やで！早く病院に行きや！」って言われた記憶があります。唇もよく荒れていました。食べ過ぎが原因！と言われましたが、パンパンに腫れ上がる時もあり、それだけではなかったかも？と思います。頻繁にかかっていた外耳炎に塗っていた軟膏は、間違いなくステロイドが入っていました。

あと、小さい時からなっていた病気というと、肋間神経痛です。呼吸できないくらいの痛さ、その波がじわじわと突然くる恐怖。この話をしても、あまり周りには理解をされず、「だらだらしているからでないの？」などと言われました。でも、先生のヘルペスへの考え方を知り、間違いはないわ！と、思いました。

小さい頃は、家庭環境もあまり整っておらず、自分自身を守るためストレスを知らない間に貯めていたように感じます。自分でステロイド大量放出だったんでしょう。大人になっても、たまに出てはいましたが、ここ最近、めっきり影をひそめております。薬の効果ももちろんですが、年を重ねるにつれ、心のトレーニングがされて、ストレスを受け入れる事ができているような気がします。痛さに対する怖さがなくなって、本当に安心しています。「治すのは、自分自身や！」と、教えてくださった松本先生に感謝です。

去年は、突然の関節のこわばりを体験して、Jr先生に抗ヘルペス薬と、煎じ薬を処方していただき、事なきを得て、今ではあまりこわばる事はなくなりました。

今は、外耳炎に悩まされていますが、大量にステロイドを使用した箇所なので、時間がかかるかな～と思っています。以前の耳鼻科の先生は、「触らないように」と言っていたのですが、私は耳にできたアトピーと考えているので、痒い時は黄色い薬と、紫雲膏を塗りながら、掻いています。汁もたくさん出てきますが、寝る前に、抗ヘルペス剤を忘れず飲むと、朝にはだいぶ楽になっています。この抗ヘルペス薬、なんであんなに効くのが高いのでしょうか。保険が効か

ない意味が分かりません。この間は、手持ちがなく買う事ができませんでした。でも、「お金ができたら、来ます！」って正直に話したら、松本先生は「よっしゃ！ そうしい！」とおっしゃってくださいました。完治は、お財布と相談です。

でも、国民皆保険の日本で、これはなんだかなあと思います。早急に保険でカバーできるヘルペスの範囲を広げてもらえる事を心から願っております。これは、もう少しまとめて、大阪府社会保険診療報酬支払基金へ伝えられたらと思います。